

講座番号	テーマ	概要	形式・時間・担当
C-1	保護者に必要な対人関係とは	子どもはやさしい先生が好きです。やさしい先生は、他の先生とのかかわり方が上手な傾向にあります。授業では、楽しみながら幼稚園や保育園の先生に必要な対人関係の大切さを学び自分自身や他者の魅力を発見してみましよう。	体験 20・30・50分 [担当]朝木
C-2	ピアノを弾いてみよう	保育現場では、歌を歌う時、体を動かす時、登園降園時、昼ごはんの時など、さまざまな場面でピアノが必要です。出張授業では基本的なピアノの弾き方を説明し、経験がない人でも童謡が弾けるようになる体験をします。	講義・体験 20・30・50分 [担当]宮本
C-3	子どもと運動	子どもの発達に有効な運動あそびとはどのようなものなのかを考え、実践をおこないます。また、子どもが運動あそびを通して何を身に付けていくのか体験しながら考えてみましょう。	体験 20・30・50分 [担当]三好
C-4	自然とあそぼう	幼児期の子どもたちは自然に出会い、発見する楽しさ、不思議さに気付く力をあそびの中で獲得していきます。植物や季節などをテーマにした教材あそびや自然物を使った製作活動などを実際に体験し、あそびの大切さについて考えましよう。	体験 20・30・50分 [担当]古林
C-5	幼児教育・保育の仕事ガイダンス	子どもに関わる仕事に興味がありますか。具体的にはどのような仕事内容があるのでしょうか。仕事をしていて楽しい事、やりがいを感じる事、大変な事、難しいことなどは、どのようなことでしょうか。幼児教育・保育の仕事の概略、必要な資格、仕事のやりがい、厳しさ、技能や適性などについてお伝えします。	講義・体験 20・30・50分 [担当]元田
C-6	障がいをもつ子どもからみた世界	「障がい」と聞くとどんなイメージを抱きますか？言葉は聞いたことがある、街中で見かけたことがあるなど、普段の生活でもどこかで接点があるかもしれません。でもきちんとは知らないから少し距離を置いてしまうということもあるでしょう。障がいをもつ子どもについての知識を得て、彼らの目線に立つ体験を通して、皆さん自身もまだ新しい世界が開けるかもしれません。	講義・体験 20・30・50分 [担当]志方
C-7	幼児の音楽表現にふれよう	保育現場では毎日のように歌が歌われています。一日の生活の流れの中で歌う「生活の歌」、季節や行事の歌、手遊びや、わらべうたを歌うこともあります。幼い頃に歌ったり聴いたりした懐かしい楽曲にふれながら、歌唱表現による子どもの育ちを保育者の視点から考えていきます。	講義・体験 20・30・50分 [担当]四童子
C-8	言葉の発達を促す子どもの遊びを体験してみよう	皆さんが何気なく使っている「言葉」について、日頃深く考える機会は少ないかもしれません。しかし、言葉こそが他の動物とは違う人間の特性でもあります。言葉はコミュニケーションの道具としての機能だけでなく、思考の道具としての機能、行動調整としての機能など様々な側面があります。言葉をうまく使うことで、日常生活・社会生活を円滑に進めることもできます。言葉について考え、言葉の発達を促すために保育の現場で行われている言葉遊びや歌遊びなど、実際に体験してみましよう。	講義・体験 20・30・50分 [担当]井手
C-9	教育・保育を哲学しよう	哲学と聞くと、堅苦しくて難しいと思うかもしれません。しかし、哲学は私たちに当たり前のものを、幼児のように不思議に感じるしなやかさから始まります。この授業では、子どもにまつわるイメージや制度など、ごくありふれたものに「？」を向け、その成り立ちを考えていきます。それはもしかしたら、私たち自身が子どもになって、どこにでも向かいうる好奇心と共に世界を見直す作業かもしれません。	講義 20・30・50分 [担当]舩原
C-10	発達心理学への招待	子どもの理解は人間理解の出発点かもしれません。本講座では、赤ちゃんや子どもの発達に関わる現象に目を向けながらヒトへの理解を深めていくことを目指しています。	講義 20・30・50分 [担当]新田